

千葉商科大学 プレスリリース

地域を志向した研究活動を奨励 地域志向研究助成金制度 公募開始 [受給者研究報告会を2月24日に開催]

千葉商科大学(学長:原科幸彦)地域連携推進センター(センター長:鈴木孝男)では、地域を志向した研究活動を奨励する「地域志向研究助成金制度」の受給者を3月30日(金)まで募集しています。

同制度は2016年度にスタート。地域を志向した研究活動に必要な経費を助成し、大学の地域連携・社会貢献活動に資する調査研究の振興を図ることを目的としています。大学の研究助成金制度の一般公募は例が少ないですが、本学の制度は本学教員が「地域研究アドバイザー」となることで学外者も申請可能となります(※)。

また、2月24日(土)には、2017年度受給者の研究報告会を開催します。同制度の応募をご検討の方、ご関心をお持ちの方は、応募への参考となる機会でもありますのでぜひご参加ください。

※地域連携推進センターまでご相談ください。研究分野が共通する教員を紹介します。

◆地域志向研究助成金受給者募集<2018年度>

【研究の種類】「個人研究」と「共同研究」の2種類

【助成額】「個人研究」30万円以内、「共同研究」50万円以内

【助成件数】1年度につき「個人研究」5件まで、「共同研究」1件まで

【「地域」の定義】

この制度における「地域」とは、市川市及び隣接する基礎自治体、または千葉県全体を指す。

【申請期限】2018年3月30日(金)

【詳細】http://www.cuc.ac.jp/social_contribution/news/2017/chiki_kenkyu2018.html

◆研究報告会<2017年度> 入場無料・事前申込不要

【日時】2018年2月24日(土) 10:00~12:45

【場所】千葉商科大学 本館7階大会議室

【研究テーマ】

- ・「市川市内の介護老人保健施設及びリハビリテーション病院のソーシャルワーカーにおける地域の介護問題についての意識の研究」
- ・「ソーシャルビジネスを志向した生活支援サービスの担い手育成に関する研究」
- ・「増加する空き家の実態調査と地域街づくり連携に関する研究」
- ・「地域の多様な人材をコーディネートする能力を育てる教育メソッドの開発～松戸市・鎌ヶ谷市・市川市における地域トランスメディアエーターの創出～」
- ・「市川市じゅん菜池の自然環境改善と環境教育への取り組み」

<本件に関する問い合わせ先> 千葉商科大学 地域連携推進センター

〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1 TEL: 047-320-8667 E-mail: cucr@cuc.ac.jp



千葉商科大学

www.cuc.ac.jp